

■ C V S（Certified Value Specialist）認定試験

1. 受験コース

米国での変更を受け、日本でも2017年度から“VE管理者向け”コースは設けないこととしました。そのため、組織内での立場がVE実務者の方もVE管理者の方も同一の受験資格要件・審査内容となります。

2. 受験資格要件

C V S認定試験を受験するためには、次の(1) V E学習経歴、(2) V E実務経歴、(3) V E研究論文又はV E実践論文の執筆・公表、の3条件をそれぞれ満たしていなければなりません。「C V S認定試験受験申請書（以下「申請書」という）」での書類審査でこれらの条件を満たしていると認められなかった場合は、筆記試験を受けられません。

(1) V E学習経歴

次の①又は②のいずれかを満たしていること。

- ① 米国V E協会が認定している72時間以上のV Eワークショップ・セミナー（V E－W S S）を受講・修了していること。
- ② 次のいずれも満たしていること。
 - V Eスペシャリスト資格の登録者であること。
 - バリューデザインスクールV E上級コース（又はバリュー・マネジメント実践塾アドバンスコース）の全4講座を受講・修了していること。

(2) V E実務経歴

次のカテゴリ1～3の条件をそれぞれ満たしていること。

カテゴリ1：V E実践活動

次の①・②の合計で48点以上あること。ただし、そのうちの40点は①によるものであることが必要。

① V Eチーム活動【10時間につき1点、端数時間は切上計算】

(注1) V Eチーム活動とは、次の3つ全てを満たしている活動のことをいう。

- 価値向上を目指し、組織的にプロジェクトを実施する。
- V E実施手順（ジョブプラン）に従って活動する。
- 機能分析を実施する。

(注2) V Eチーム活動への参加は、リーダー・メンバーどちらの立場でも可。

(注3) リーダーはチームの一員で、V Eチーム活動で他のメンバーより大きな責任を負う。

(提出書類)

- 申請書の様式4
- 機能分析の実施を示す資料【例：機能一覧表、機能系統図、機能評価シート】
- 当該V Eチーム活動でのV E実施手順（ジョブプラン）を示す資料

② V E推進活動【フルタイム1年につき4点、フルタイムでない場合は比率配分で換算】

(提出書類)

- 申請書の様式5
- V E推進手順の詳細、組織図、推進実施指令、推進活動概要をまとめた資料

カテゴリー2：VE学習活動

次の①～⑦で、合計30点以上（端数時間は切上計算）

① VEに関する研究会又は勉強会等に参加した場合	1点/10時間
② VEに関する大会・セミナーに参加した場合 ※ 例：VE全国大会、VE関西大会、VE阪神セミナー等	1点/10時間
③ VEに関する講座、研修会を受講した場合 ※ 前頁の「VE学習経歴」で申請したものは不可	1点/10時間
④ 大学でVEに関する授業を受けた場合	1点/1単位
⑤ 4年制大学以上を卒業した場合	20点
⑥ 短期大学又は高等専門学校以上を卒業した場合	10点
⑦ 次の公的資格を取得し、登録している場合 ※ 技術士、公認会計士、1級建築士、中小企業診断士、J-CMCから2つまで	5点/1資格

(提出書類)

- 申請書の様式6
- 申請した活動についての証明資料

カテゴリー3：VE専門的活動

次の①～⑤で合計10点以上（端数時間は切上計算）

① VE-WSS等、VEに関する教育を社内外で行った場合	1点/5時間	
② VEに関する論文、著書、学位論文等を執筆し、専門家の審査を経て発表又は発行した場合 ※ 次頁の「VE研究論文又はVE実践論文の執筆・公表」で申請するものは不可 ※ 共著の場合は、比率配分する	3点/1編	
③ VEに関する新聞記事・社内報等を執筆し、専門家の審査を経ずに発行した場合 ※ 共著の場合は、比率配分する	1点/1編	
④ VEに関する発表・講演等を公開の場で30分以上行った場合 ※ 社内での発表・講演等は不可	1点/1回	
⑤ VEに関する非営利法人の社会貢献活動への支援	・申請者本人又は申請者の所属組織（法人・団体又はその事業所・工場等）が会員として、当該法人の社会貢献活動を支援した場合	1点/1年
	・当該法人の社会貢献活動に、リーダー又はメンバーとして直接参画した場合 ※ 例：震災復興支援活動	1点/5時間
	・支部組織に参画し、当該法人の地域貢献活動を支援した場合 ※ 例：支部運営委員	4点/1年
	・支部長又は副支部長に就任し、当該法人支部組織の地域貢献活動を支援した場合	8点/1年
	・本部の委員会組織に参画し、当該法人の社会貢献活動を支援した場合 ※ 例：委員	4点/1年
	・委員長又は副委員長に就任し、当該法人の社会貢献活動を支援した場合	8点/1年
	・役員に就任し、当該法人の社会貢献活動を支援した場合 ※ 例：理事、監事	10点/1年

(提出書類)

- 申請書の様式7
- 申請した活動についての証明資料

③ VE研究論文又はVE実践論文の執筆・公表

① 申請者が単独（共著であっても第一執筆者※であれば可）で執筆し、専門家の審査を経て公表した、又は公表予定のVEに関する論文があること。

※ 第一執筆者：その論文執筆に主となって取り組み、執筆者の中で最も貢献度が高く、内容について最も大きな責任をもつ者。

② 公表論文とは、VE全国大会の発表論文、本会バリュー・エンジニアリング誌掲載の査読論文、学会の審査を経た発表論文、米国VE協会が主催するVE国際大会の発表論文など『審査・認定委員会（資格認定部会）』が認めたもののことをいう。社内での活動事例や社内限定の論文は、公表論文と認められない。

(提出書類)

- 申請書の様式8
- 申請した論文についての証明資料

3. 実施要領（2020年度）

日 時	2020年10月17日(土) 13:30 ~ 16:30
会 場 (予定)	東京、他
試験方式	記述式（事前に書類審査があります）
受験料（税込）	33,000円
受験料以外の 必要料金（税込）	合格者には、登録料33,000円と4年おきに再認定料33,000円【再認定を申請しない場合は不要】を別途納入していただきます。
受験料の納入	2020年9月18日(金)まで
申請受付期間	2020年9月18日(金)まで（消印有効）
申請方法	所定の申請書を郵便又は宅配便で本会に提出（FAX、電子メールは不可） ※ 過去に受験をしたことがある方には、専用の簡易版申請書があります。 本会ホームページからダウンロード可能です。
受験票の送付	発送日：2020年9月25日(金)（予定） 送付先：申請者の自宅（普通郵便、会場案内図同封）
受験のキャンセル	実施日の3営業日（土日祝日を除く）前までは無料で可能 ※ 以降はキャンセル料が次の通り発生します ● 実施日の2営業日前～前日：受験料の半額 ● 実施日当日：受験料の全額 ※ 申請者の都合によるキャンセルの場合、受験料返金時の振込手数料は申請者負担とさせていただきます。
合格基準	100点満点中70点以上
可否通知	2020年11月27日(金)までに文書（申請者自宅宛ての普通郵便）で通知

※ 申請後、本会担当者から特に連絡がない場合は申請が問題なく受理されたものと理解し、受験票が届くまでお待ちください。

4. 申請要領

(1) 受験料33,000円を、次の銀行口座又は郵便口座に納入してください。振込手数料は、申請者でご負担願います。

● 銀行をご利用の場合

三菱UFJ銀行 駒沢大学駅前支店（普通預金）0394063

口座名義：こうえきしゃだんほうじんにほん公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会 きょうかい試験係 しけんがかり

● 郵便局をご利用の場合

口座番号：00190-6-536596

加入者名：日本VE協会 試験係

- (2) 必要事項をもれなく記入のうえ、所定の申請書を前頁の申請受付期間内に本会事務局へお送りください。

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢 1-4-15 真井ビル 6 階
公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会 事務局

5. 審査、認定・登録、登録更新について

(1) 審査

① 書類審査

受験申請書で行います。

② 筆記試験

上記の書類審査でそれぞれの受験資格要件を満たしていると認められた方を対象に行います。

③ 合否判定

- 本会の『審査・認定委員会（資格認定部会）』が行います。
- 判定結果についての問い合わせには、一切お答えできません。また、判定に関する質問等にもお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
- 各人の得点は、公表しておりません。

⑤ 面接審査

筆記試験の受験者に、必要に応じて行うことがあります。

(2) 認定・登録

- ① 『審査・認定委員会（資格認定部会）』での審査結果にもとづいて米国 V E 協会が正式に認定された後、日米の V E 協会が連名で発行した認定証を交付します。
- ② 申請書への虚偽記載、公表論文での著作権上の抵触、不正受験行為等が認められた場合は、筆記試験の結果に関係なく不合格又は認定取消となります。
- ③ 米国 V E 協会の倫理要領に反するような行為等が認められた場合には、登録が取り消されることがあります。

(3) 登録更新

- ① 上記の認定・登録は、4 年間有効です。再認定・再登録を受けるには、所定の手続きを行う必要があります。
- ② 再認定・再登録の手続きについては、CVS 再認定申請要領をご覧ください。

6. 資格取得のための学習（受験資格要件「VE学習経歴」を満たせる講座）

- (1) 米国VE協会が認定しているVE-WSS（72時間コース）

<https://www.sjve.org/certify/cvs/wss>

- (2) 本会が主催している「バリューデザインスクールVE上級コース」

<https://www.sjve.org/semi/school/school-j>

7. その他

CVS資格の認定を行っている米国VE協会が制度の変更を検討中であるため、その結果によっては以上の内容が今後、変更となる可能性があります。

8. 参考図書

● 新・VEの基本

発行：産業能率大学出版部

定価：2,200円＋消費税・送料

本会販売価格：2,000円＋消費税・送料

● VE用語の手引

発行：公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

定価：1,200円＋消費税・送料

● VEハンドブック普及版

発行：公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

定価：10,000円＋消費税・送料

会員価格：9,000円＋消費税・送料

以上